

健康経営の推進に向けた実証試験について

1 要旨・目的

健康診断のデータからAIにより将来の健康リスク予測等を行うとともに、スマートフォンのアプリ等を活用して生活習慣改善提案を実施し、働き盛り世代の従業員の健康づくりにつながる実効性ある後押しの方法を検証するための実証試験を令和3年12月から開始しており、その進捗状況を報告する。

2 現状・背景

人生100年時代に向けた、若い時期からの健康づくりの必要性をビジョンに位置付けた一方で、現状は、若い時期を対象とした施策は食育や運動習慣の推進に向けた普及・啓発（機運醸成）に留まっており、実効性のある具体的な介入策に至っていない。

3 概要

(1) 対象者

県内に事業所のある企業・法人等及びその従業員 約50団体 約1,300人

(2) 事業内容

ア 実証試験の流れ

実証試験の大まかな流れは、次の図のとおり。



イ 検討会の設置

実証試験の評価を行うため、学識経験者その他関係団体で構成する「データを活用した働き盛り世代の生活習慣改善策に係る検討会（以下、「検討会」という。）」を設置。有効な後押しの方法の確立に向けて、検討会でのレビュー、これを受けた改善を繰り返し実施している。

ウ スケジュール

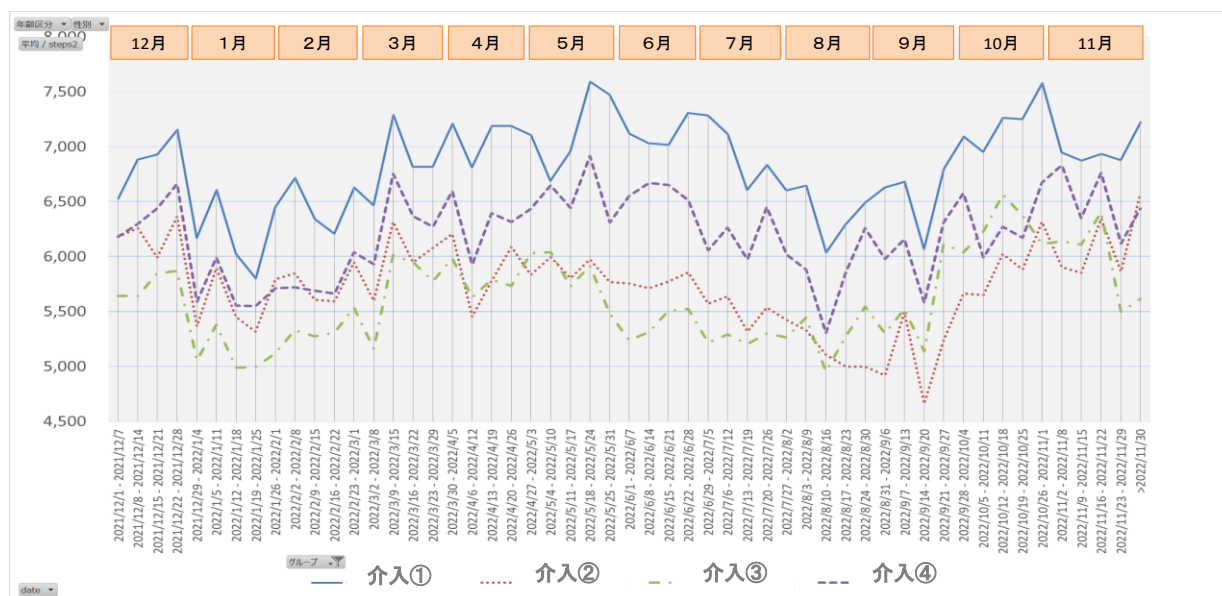
- ・第1期 令和3年12月1日～令和4年11月30日
- ・第2期 令和5年2月1日～令和5年11月30日（予定）

エ 進捗状況

- ・第1期において、個人任せにすると運動等の取組が続きづらいのではないかと考えた課題が見えてきたことを踏まえ、第2期においては、定期的に外部からの刺激を行うなど、介入内容を改善しながら試験を実施中。
- ・第1期の結果について、試験開始前後でのアンケート、アプリのログ記録（歩数等）及び健診データを用い、検討会の意見を聴きながら詳細分析を実施しているところであり、取りまとめたものについては改めて報告する。

(参考) アプリのログ記録の例

各グループにおける1週間ごとの平均歩数（1日当たり）の推移



(3) 今後の対応

進捗状況や検討会の意見を踏まえ、介入内容を改善しながら試験を継続し、検証を進めるとともに、実証試験から得られたエビデンスに基づく社会実装の具体的な方策の確立に向けた検討を進める。

(4) 予算（一部国庫）

40,468千円（令和4年度）

（働き盛り世代の健康づくり推進事業～健診情報等のデータ活用に係る検討）

4 その他（関連情報等）

県HP「広島県内企業の健康経営の取組を支援します」 ▶▶▶

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kenkoukeiei/>

